

# 学校だより

平成30年度 第14号  
平成30年9月14日(金)



総社市立秦小学校

## 運動会を通して子どもたちに育てる力

運動会まで、約1週間になりました。応援合戦の朝練習、開閉式などの全体練習、組み体操やダンスの練習と、子どもたちは毎日、全力でがんばっています。多くの子どもたちが筋肉痛と戦っています。練習を一生懸命やっている証拠です。

運動会を通して子どもたちに育てたい力は、次の3点です。

### ①全力でがんばる力、団結力・連帯感、フェアプレーの精神

全力で自分のもつ力を出し切る姿は、とても美しいものです。そして、ダンスや組み体操、リレーなど学年で、縦割り班で心をひとつにしてやり切ることも大切です。

### ②集団行動力、規律ある態度、協力、集中力

運動会は学校行事の中でも、集団行動を身に付ける絶好の機会です。集合時間を守る、移動はすばやく行う、先生が話す時は、黙って静かに聴くなど規律ある態度の育成の場です。

### ③責任感、自尊感情

高学年の5・6年生には応援合戦の練習で下学年を指導しながら、リーダー性が培われます。また、競技を通して運動会の運営にかかわる中で、責任と誇りをもつようになり、高学年としての自覚がさらに高まります。

## 運動会は最大の「学校公開」行事

運動会は秦小学校のよさを地域に発信するまたとない機会です。秦小学校のよさは、明るく素直で何事にも一生懸命取り組む姿、高学年のリーダーとしてがんばる姿、学年を越えて協力する姿などです。「学年だより」や「学校だより」などで子どもたちの様子を保護者や地域の皆さまにお伝えしていますが、実際に子どもたちの姿を見ていただくことが、一番分かりやすく、学校の様子を理解していただくことにつながります。

子どもたちは、運動会に向けて練習してきた成果を出し切って、感動が生まれる運動会を創り上げてくれることでしょう。保護者、地域の皆さまのご来校を心からお待ちしています。

## 運動会 写真販売なくなります

本年度から運動会の写真を業者の方に撮っていただき、後日販売することをやめますので、ご了承ください。理由は次の2点です。

- ①当日は多くの保護者の方が来校され、各自撮影されること。
- ②写真見本の準備や集金事務の負担が大きいこと。

## 第2回学校関係者評価委員会(9/11)

9月11日(火)に第2回学校評議員会・学校関係者評価委員会を開催しました。当日は7名の学校評議員(学校関係者評価委員)の皆さんが集まってくださいました。学校から1学期の教育活動について、ホームページに掲載している「子どもたちの活動の様子」をもとに説明しました。

次に、学校評価の中間評価の目標達成状況と後半へ向けての改善策について、報告・説明をしました。

次の表は、本年度の重点目標ごとの評価(達成)基準とアンケート結果をもとに算出した達成状況、評価と2学期以降の改善策を記載しています。

- A: 達成している
- B: おおむね達成している
- C: あまり達成していない
- D: 達成していない

本年度の評価基準	自己評価(中間)		
	達成状況	評価	改善策
・授業の内容がわかるという回答が80%以上である。 【児童】 ・学校は子どもたちが学習内容がよくわかるように指導しているという回答が80%以上である。【保護者】 ・子どもたちが授業内容の理解が図れるよう指導工夫をしているという回答が80%以上である。【教職員】	児童 89% 保護者 96% 教員 95%	B	・自分の考えをもち、まとめたり表現したりする授業への転換を目指す。
・家での勉強(宿題・家庭学習)をがんばっているという回答が80%以上である。【児童】 ・お子さんは、家での勉強(宿題・家庭学習)をがんばっているという回答が80%以上である。【保護者】 ・子どもたちが家庭学習に取り組めるよう指導しているという回答が80%以上である。【教職員】	児童 84% 保護者 88% 教員 88%	B	・家庭学習の取り組み方を見直す指導を行う。
・元気よくあいさつをしているという回答が80%以上である。【児童】 ・お子さんは、元気よくあいさつをしているという回答が80%以上である。【保護者】 ・子どもたちが元気よくあいさつができるように指導しているという回答が80%以上である。【教職員】	児童 87% 保護者 88% 教員 100%	B	・いつでも、どこでも、だれにでも元気よくあいさつできるように指導する。
・友達の気持ちを考えて、だれとでもなかよくしているという回答が80%以上である。【児童】 ・学校は、子どもに思いやりや助け合いの心を育てようとしているという回答が80%以上である。【保護者】 ・子どもに思いやりや助け合いの心が育つように指導しているという回答が80%以上である。【保護者】	児童 94% 保護者 99% 教員 100%	B	・SEL、協同学習を全クラスで実践する。
・学校は、家庭や地域に積極的に情報発信を行っているという回答が80%以上である。【保護者】 ・家庭や地域に積極的に情報発信を行っているという回答が80%以上である。【教職員】	保護者 99% 教員 100%	A	・家庭や地域の願いや要望にも耳を傾ける。
・業間休みや昼休みは元気よく遊んでいるという回答が80%以上である。【児童】 ・学校は、子どもの健康の増進や体力づくりに努めているという回答が80%以上である。【保護者】 ・子どもたちが業間休みや昼休みに元気よく遊ぶよう指導しているという回答が80%以上である。【教職員】	児童 87% 保護者 94% 教員 100%	B	・学校行事の見直しを行う。 ・児童会から外遊びについてアイディアを出す。

学校の自己評価に対して、学校関係者評価委員の皆さまから、ご意見やご感想をいただきました。

- ◇基礎学力がついていないために、次に進めない場合がある。
- ◇「学力向上」を掲げることにに対しては抵抗はない。なぜ必要なのか保護者にもっと説明する必要がある。
- ◇授業の工夫がされている。先生方には自信をもってほしい。
- ◇家庭学習に課題がある。ゲームやメディアとの関わりに課題。
- ◇秦地区は3世代世帯が多く、優しく心の豊かな児童が多いが、その一方で、厳しさも必要になる。
- ◇できることをひとつずつ行っていくことが大切。
- ◇家庭で話のしやすい環境をつくるのが大切。
- ◇話せる人、信頼できる人(先生)がいることが大切。
- ◇今後も家庭との連携を密にしていける必要がある。

第3回学校関係者評価委員会は、来年1月31日を予定しています。

運動会へ向けてがんばっています!

家庭配付用には  
写真を掲載しています。